

(常磐地区まちづくり検討会)
令和3年度第2回ワーキンググループ会議
(HuLabo①)：居心地のよい駅前空間づくりWG
要旨

■ 日 時

令和3年11月26日(金) 18:00~19:10

■ 場 所

常磐公民館 第1会議室

■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 挨拶(都市計画課)
- 3 議事
 - (1) 事務局説明
 - (2) 商店街のにぎわい再生実現に向けた意見交換(事前アンケート共有・ミーティング)
…ミーティング・意見交換の概要は後記参照
- 4 その他
 - ・特になし。
- 5 閉会



■ 意見交換の概要(要旨) ○：関係団体委員 ⇒：事務局・行政委員

- 支所の機能は、社会情勢にあわせて決めていただければよいのではないのでしょうか。施設というよりは、行政のサポートになかなか繋がれない人が、駅前が居場所となり、行政窓口のハードルが低くなるとよいと思います。
⇒ 施設内外の空間づくりも重要だと思います。
- 湯本温泉にある支所としては、住民票や公印届の証明書等とくに、フラのデザインがあるなど、湯本温泉らしい仕組み作りが望ましいと思います。
- 訪れやすい場所に立地させる必要があると思いますが、17時過ぎには閉まってしまうため、施設配置等(1階ではなく2階とするなど)には留意が必要と考えます。
- 支所は移転することになったのでしょうか。
⇒ 昨年度から皆さんと話し合い、駅前に導入する機能の検討対象とすることについては整理されていますが、実際に移転すると決めたものではありません。
- 今後の人口減少や高齢化を踏まえ、市民生活がどう変わっていくのか、ICTの活用も含め、住民を交えて考えていくことが重要だと思います。また、地域包括ケア等の機能が重要となってきますので、動線が重要だと思います。
- 駅前に色々なものを集めるといいますが、駅前にそこまで必要なのか、大きな建物が建つのかなと思います。支所は耐震などの工事でまだ使えるのではないかなと思うし、3階は何も使ってないので、何か上手く使えるのではないのでしょうか。
⇒ 施設の寿命は、耐震工事では延びません。エレベーターもなく、機能の耐用年数は迎えていると言えます。人口減少社会の中、将来の子供たちが施設を維持できるもので

はなく、施設のサイズダウンや複合化の検討は避けて通れないものと御理解いただきたいと思います。複合化することで、機能同士の相乗効果や共用する会議室などによりサイズダウンも可能となってきます。

○ てんこ盛りで、駅前ですべて使えようとするのができるのかなと思います。例えば、21世紀の森公園の方に、常磐の公共施設は全部集約しちゃって、駅から無料バスや路面電車等を走らせ、常磐のまちはこれだけとした方が、人は集まるのかなと思います。

⇒ 次回のワーキングで規模感も提示し、駅前の使い方なども含め、意見交換できればと考えています。

○ 施設も中も外も、市民が柔軟に使えようとするのがよいと思います。例えば、営利活動も認め、その料金を維持管理等に回すなど。これからの時代は、余白があってやわらかい配置、デザイン、ルール決めがあってくるのではないのでしょうか。

⇒ 公民館は社会教育法に基づくと営利活動には使えないという前提があるので、柔軟かく使うということは制限されてしまうのかなと思います。公民館の所管ではない部屋にするなど、行政側で上手く調整していければ、喜ばれる施設になってくるのかなと思います。

○ 機能を決めないと規模も決まらないのであれば、駅前に必要となる機能をきちんと話し合った方がよいと思います。日常スポーツとありますが、全部ごちゃ混ぜで、駅前に5階建て6階建ての建物はいらないと思っています。駐車場への負荷も高くなります。駅前以外にスポーツの拠点を移すというのも手ではないかと思っています。

⇒ 機能の話し合いでも、配置や規模感を見ながら、行ったり来たりする必要があるのかと思いますので、第3回ワーキングで意見交換を行いたいと思います。

○ 駅前に図書館の機能は必要と考えています。調べる・学ぶ・体験する・居場所をつくるという考えができると思います。図書館のなかで音楽祭や飲食などもいいですし、湯本ならではとして、例えば足湯につかりながら本を読むなどが出来るといいなど。観光客も歴史を知れますし、市民も本を借りて返しにくるというリピートが生まれます。

○ 観光案内としても、野口雨情記念館や、フラの文化などを発信するようなことを、今の常磐図書館ではしていませんので、駅前では情報発信機能を持たせることが必要だと思います。

⇒ 図書館は基本静かに本を読む人がいます。音楽祭などの意見がありましたが、人が本を読んでいる中で、近いところで落語会をやっていますが、それもちょっと離れた場所で環境を整えてやっています。本を大事に使う、本を読む人がいるという中で、様々なリスクにどう対応するかということを考えないといけないと思います。意見については、持ち帰って検討させていただきます。

○ 総合図書館は広くて静かです。常磐図書館は今の状態がいいとは思えません。図書館って子供たちが意図せずに、本に出合って、そこから興味が広がっていくいい場所だと思うので、遊びながら本に出合える図書館になるといいなと思います。

○ 私が小さい頃は湯本駅前に本屋さんもあって駅に遊びに来るということもありまし

たが、今の子どもたちは駅前に行く用事がないので、図書館も含めて子どもたちが遊べる場所があるといいと思います。

- 駅前に温浴施設は望ましいと思います。駅前ってシンボリックな場所がなく、湯本の顔となるようなものがないので、ぜひ実現していただきたいです。
 - ⇒ 先に説明しましたが、行政ですと、地域の方のお風呂という公衆浴場となりかなり制限がかかります。そのため、賑わいを出すような施設とするためには、民間活力を導入することが基本となっています。
 - ⇒ みゆきの湯は公衆浴場であり、その他公衆浴場と何が違うかという点、上限の料金が決められており、休憩施設もあつてはいけない、公衆浴場で使い物以外は売ってはいけない、飲み物、タオル、石鹸等以外は売れないなどです。市で運営するとなるとそのような整備となるので、駅前で見栄えの良い、娯楽を目的としたものについては、民間さんの活力でというのが基本的な考えとなります。
- 将来の施設なので、今のルールにとらわれすぎず、一緒にまちをおもしろくしていこう、こう変えたら出来るかなと検討・勉強していくことが重要だと思います。
- 独居の方が民間の温泉利用する中で名札を提示し、それを行政が確認しているような事例もありますので、参考としてはどうでしょうか。
- さはこの湯も含め、今の公衆浴場って、たぶん観光客はそれほど入っていないと思います。公衆浴場が駅前に必要性あるのかなと思いますし、どんな温浴施設にしたいのかといった機能を詰めていけば見えてくるとと思います。
- 生涯福祉サービスにも携わっていますが、御幸山は高齢者と障がい児等にハードルが高いところです。改修とかあると思うのですが、階段の傾斜をやさしくするとか、一緒に楽しめる場所にして欲しいです。下の駅前緑地で遊ばせて頂いていますが、下の緑地と上の御幸山の隔たり感がないような工夫も検討して欲しいです。
- 色々な意見が事前アンケートでもあがってきていますが、ここに示されている案内板とイルミネーション以外で実現可能性があるのかどうか、ご担当者から説明をお願いしたいと思います。
 - ⇒ 第1回ワーキングの際にも説明はしていますが、風致公園という位置付けの中での整備に留意が必要となると思います。
 - ⇒ 風致公園であることと、公有地化されていない部分が多くあることから、制限がでてくることはご認識していただきたいと思います。利活用や維持管理については、一部法律が改正されており、常磐地区のように様々な団体等の活動が活発な場合ですと、その団体さんを含めた協議会を設置した上で、維持管理等をセットに公園管理者と協定結んでいただき、自由度を広げていくことは可能となっています。ただし、改修や整備には法制限があり、事務局が所管している部分もありますので、相談していきたいです。
- 小さいころは公園もあつて子供たちが遊んでいました。今は、風致公園とっていますが、防犯上、立ち入ってはいけないような場所となっている現状があります。直接お金を生む場所ではないかもしれませんが、駅を降りて目の前の看板ということを考えないといけないと思います。出来る出来ないとこれまで言ってきましたけど、結局は誰も何もやってこなかったと思います。公園として、一緒に考えていただければと

思います。